

不正接続検知／排除システム

IntraGuardian2

一元管理ソフト

IntraGuardian2 Manager

スタートアップガイド

第5版

version 2.0.6用

2010/03/10

日本シー・エー・ディー株式会社

はじめに

このたびは、不正接続検知/排除システム IntraGuardian2（「本製品」）をお買い上げ、ならびに本製品に関する所定のユーザー登録をいただき、誠にありがとうございます。IntraGuardian2 Manager は、本製品の一元管理用ソフトウェア（「本ソフトウェア」）で、ユーザー登録済のお客様に、本製品の一元管理専用ソフトとして無償でご提供するものです。

本ソフトウェアをご利用の前に、本ガイドをご覧になり、正しくお使いください。

本ガイドはダウンロード後は印刷等をして保存されることをお勧めします。

本ソフトウェアをご使用になるには、Windows Server 2003 又はWindows XP Professional が必要です。

ご注意

- ・ 本ガイドの内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- ・ 本ガイドの内容は、将来予告なく変更することがございます。

目次

お願いとご注意	4
知的財産権等	4
免責事項について	4
ソフトウェア無償使用許諾契約	5
1 本ソフトウェアについて	6
1.1 本ソフトウェアの機能	6
2 インストール	7
2.1 IISのセットアップ	7
2.2 ファイルの展開	12
2.3 本ソフトウェアのセットアップ	14
3 管理画面へログイン	18
3.1 Webブラウザの起動	18
3.2 Manager PCのIPアドレスを入力	18
4 メニュー項目	20
5 IntraGuardian2 の登録	21
6 IntraGuardian2一覧	22
6.1 IntraGuardian2一覧の文字色	22
6.2 各欄の説明	22
7 全登録済みPC一覧	24
7.1 PCの新規登録	26
7.2 登録済みPCの編集	27
7.3 登録済みPCの削除	28
8 全不正接続PC一覧	29

8.1	PCの登録.....	29
8.2	保留時間設定	29
8.3	PCの一括登録.....	30
9	全検知履歴	31
9.1	PCの登録.....	32
9.2	PCの一括登録.....	32
10	PC移動履歴	33
11	IntraGuardian2 の設定	35
11.1	一括設定	35
11.2	特殊な設定	36
12	ファームウェア更新.....	37
13	バックアップ/復元.....	38
14	Manager設定	40
14.1	生存確認	40
14.2	通知設定	40
14.3	その他の設定.....	41
15	パスワード設定	43
16	ログアウト	44
17	アップグレードとアンインストール	45
17.1	旧 Managerのアンインストール	45
17.3	新 Manger のインストール.....	47

お願いとご注意

- ・ 本ソフトウェアの無断複製・解析は禁止されております。
- ・ 本ソフトウェアに使用されている意匠、商標の無断使用は禁止されております。
- ・ 本ソフトウェアの転用は禁止されております。
- ・ 本ソフトウェアは日本国内の使用を前提として設計・開発・製造されていますので、海外では使用しないでください。
- ・ 本ソフトウェアは、一般的な情報通信回線用途として設計・製造されています。従って、生命、財産に著しく影響を及ぼすため高信頼性を要求される、制御・監視等のシステム（原子力発電設備、医療設備等の動作を制御または監視するシステム等）の用途では使用しないでください。

知的財産権等

- ・ IntraGuardian は日本シー・イー・ディー株式会社の商標です。
- ・ 本製品に搭載されている不正接続検知／排除ソフトウェアに関する著作権その他の知的財産権は、日本シー・イー・ディー株式会社が所有するものです。

免責事項について

- ・ 本ソフトウェアは現状有姿で提供され、本ソフトウェアに関しては、その品質および性能に関する保証を含め、いかなる明示または黙示の保証もありません。
- ・ 本ソフトウェアの使用または使用不能から生ずる一切の損害（情報内容の変化、情報の喪失、事業利益の喪失、事業の中断、他製品・システムへの損害などを含む）に関して、当社は責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ・ 地震、雷、風水害、当社の責に帰さない火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、過失、誤用、その他の異常な条件での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ・ 本ガイドの記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ・ 当社指定外の機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作から生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますので予めご了承ください。

ソフトウェア無償使用許諾契約

日本シー・エー・ディー株式会社（以下、「NCAD」といいます）が提供する本製品上のソフトウェア（以下、「本ソフトウェア」といいます）には、以下の条件が適用されます。お客様は、本製品を使用することにより、以下の条件を承諾したものとみなされます。

1. 使用許諾

- ① 本ソフトウェアは、使用許諾されるものであり、販売されるものではありません。
- ② お客様には、本製品に組み込まれた形態で本ソフトウェアを使用する非独占的な権利が許諾されます。
- ③ お客様は、本ソフトウェアを改変または複製できません。本ソフトウェアをベースにしたソフトウェアを作成することもできません。

2. 著作権等

- ① 本ソフトウェアに関するすべての権利は、NCADおよびそのライセンサーが所有しております。
- ② 本ソフトウェアに関する著作権その他のいかなる知的財産もお客様に譲渡されるものではありません。
- ③ お客様は、本ソフトウェアおよび関連資料に使用されている著作権表示、商標その他の表示を除去できません。

3. リバースエンジニアリング

お客様は、自身でまたは第三者をして、本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行なうことができません。

4. サポート契約

本ソフトウェアの更新は、別途締結される本製品のサポート契約で提供されます。

5. 責任の限定

NCAD（そのライセンサーを含む）は、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じたお客様の損害等について一切責任を負いません。

6. 輸出管理

お客様は、本ソフトウェアに関し、日本の外国為替及び外国貿易法ならびに関係法令（以下、「法令等」といいます）を順守し、法令等に基づく許可およびNCAD（そのライセンサーを含む）の承認なく、本ソフトウェアを直接または間接的に輸出（海外への持ち出しを含む）しないものとします。

7. ライセンサーの権利

お客様は、本ソフトウェアに関するNCADのライセンサーが自己の名義で本契約書に基づき権利を行使できることを了承します。

8. 管轄裁判所

本ソフトウェア契約に関し紛争が生じた場合には、東京地方裁判所を管轄裁判所とするものとします。

以上

1 本ソフトウェアについて

本ソフトウェアは、不正接続検知／排除システム IntraGuardian2 を一元管理するためのソフトウェアです。

本ソフトウェアを利用することにより、複数の IntraGuardian2 を統合されたWebインタフェース（以下、管理画面といいます）から管理することができます。

1.1 本ソフトウェアの機能

1.1.1 登録済みPCの一括管理

複数の IntraGuardian2 にまたがる登録済みPCを、統合された管理画面で 参照/編集/削除 することができます。また、新たな登録を行なうこともできます。

1.1.2 不正接続PCの一括参照

各 IntraGuardian2 で発見された 不正接続PC を一括して参照することができます。

1.1.3 検知履歴の一括参照

各 IntraGuardian2 上の検知履歴を永続的に保存し、一括して参照することができます。

1.1.4 設定の個別管理/一括管理

各 IntraGuardian2 の設定を変更したり、全ての IntraGuardian2 に同じ設定を一括して適用することができます。また、ファームウェアの一括更新もできます。

1.1.5 IntraGuardian2 の死活監視

ネットワークから切り離されたり、故障した IntraGuardian2 を発見して、自動的に管理者へメールを送信することができます。これにより管理者はいち早く IntraGuardian2 で監視されていないネットワークセグメントを把握することができ、迅速な対応を行なうことができます。

1.1.6 移動PCの検出

IntraGuardian2 を設置したネットワークセグメント間でPCが移動した事を検出し、移動履歴を表示します。

2 インストール

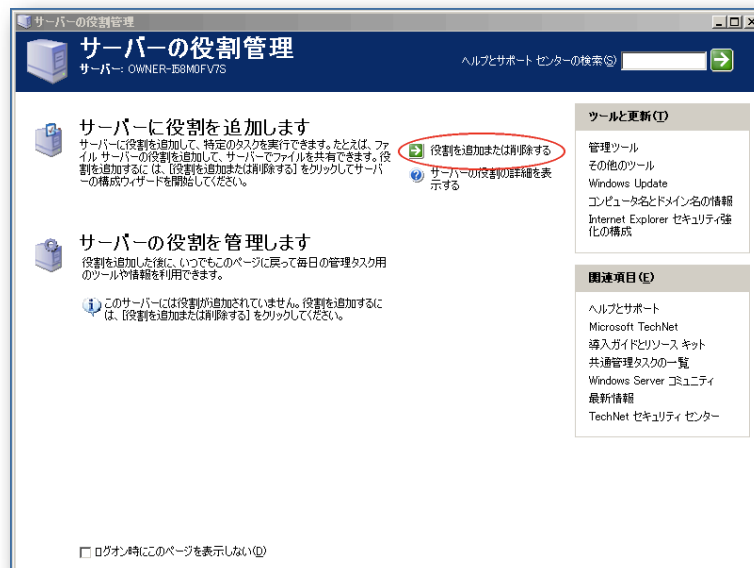
* 旧 IntraGuardian2 Manger からのアップグレードを行なう場合は、【17 アップグレードとアンインストール】をお読みください。

2.1 IISのセットアップ

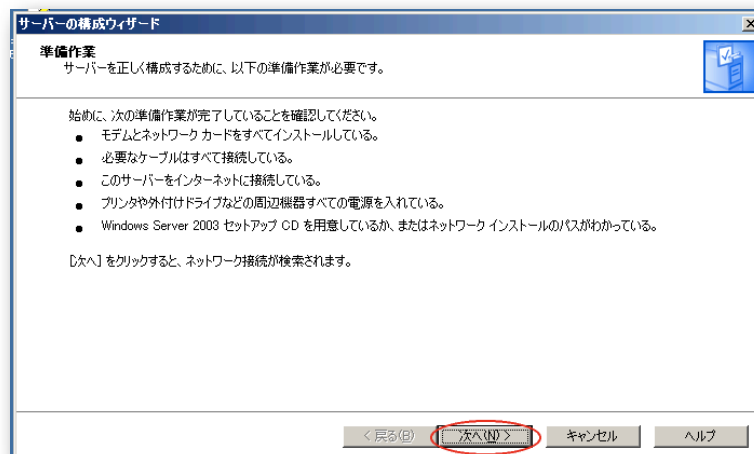
本ソフトウェアの動作には、Microsoft IIS が必要です。以下に、Microsoft Windows Server 2003 (R2 Standard Edition)と、Microsoft Windows XP ProfessionalでのIISのセットアップ例を示します。

2.1.1 Windows Server 2003 のIISのセットアップ

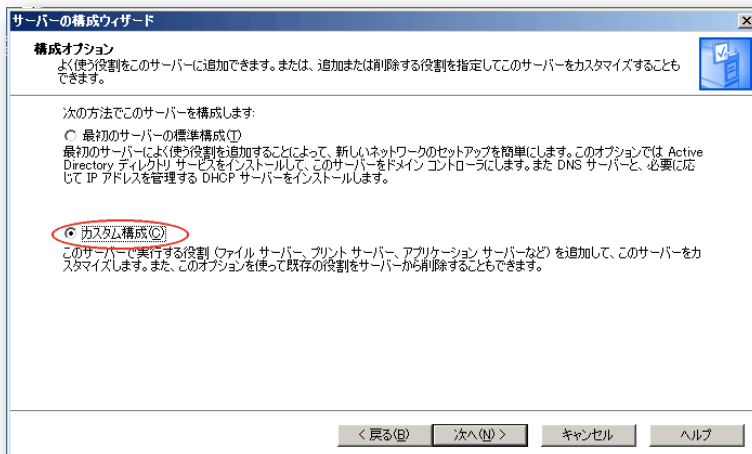
まず、スタートメニューからサーバーの役割管理画面を開き、「役割を追加または削除する」をクリックします。



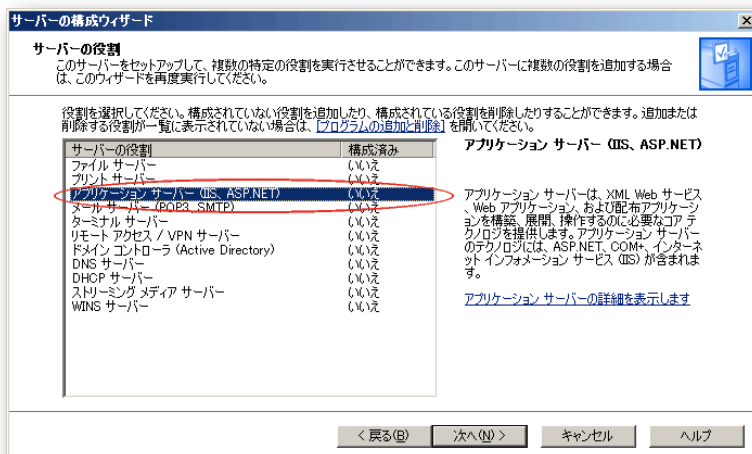
「サーバーの構成ウィザード」画面が現れるので、次に進みます。



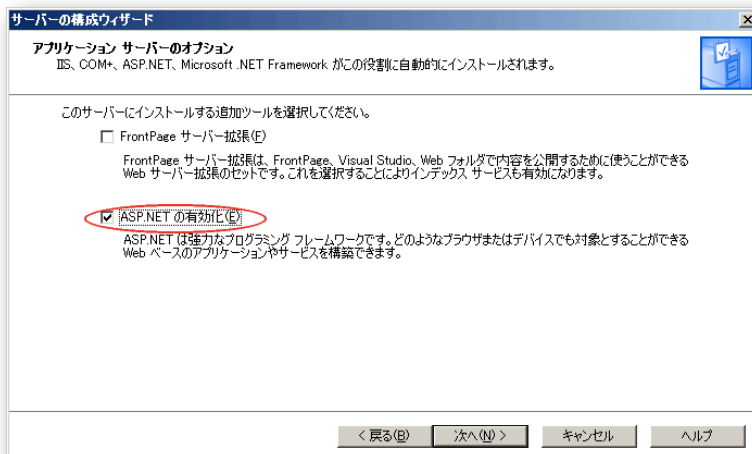
「構成オプション」画面では、「カスタム構成」を選択してください。



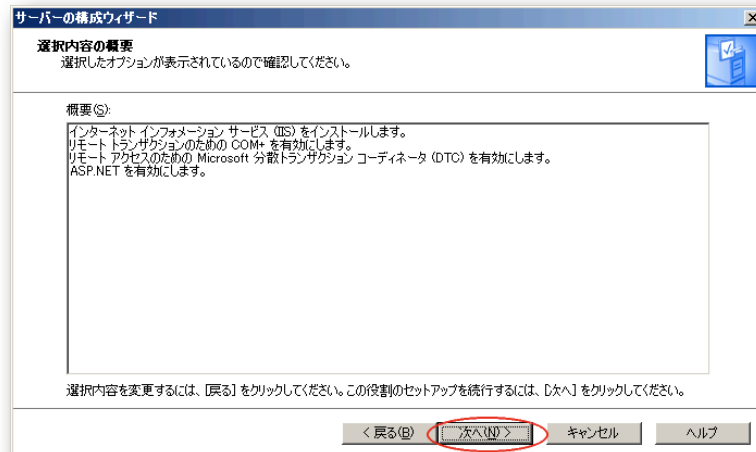
サーバーの役割として「アプリケーションサーバー (IIS、ASP.NET)」を選択し、次に進みます。



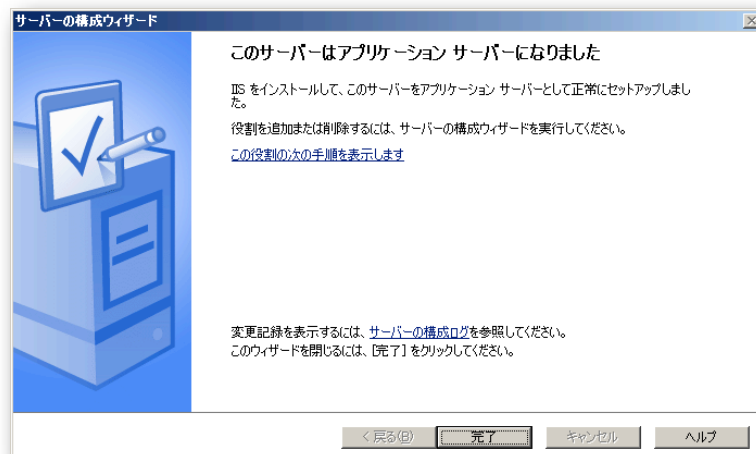
アプリケーションサーバーのオプション画面では、「ASP.NETの有効化」にチェックマークをつけます。



選択内容を確認し、次へ進みます。



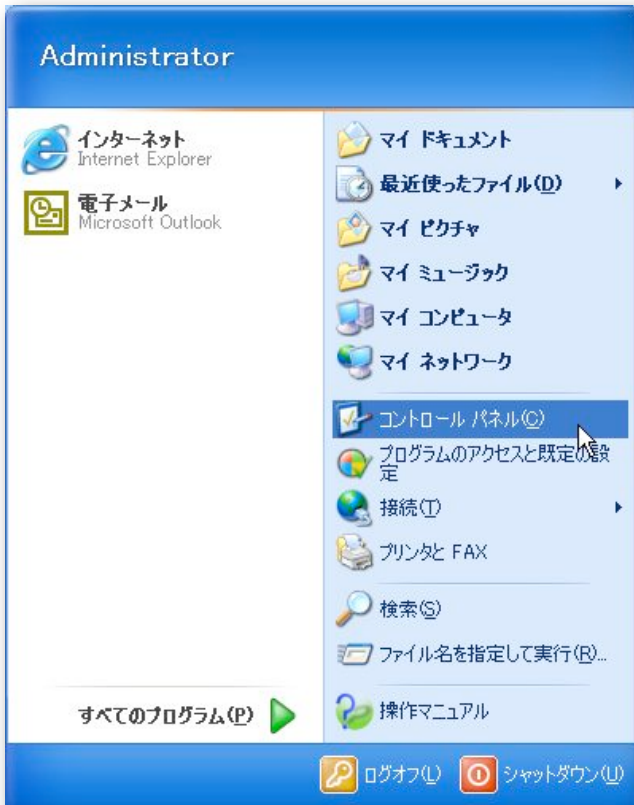
インストール作業が始まりますので、指示に従ってインストールCDを入れる等の操作を行なってください。インストールが終わると、次のような画面になります。



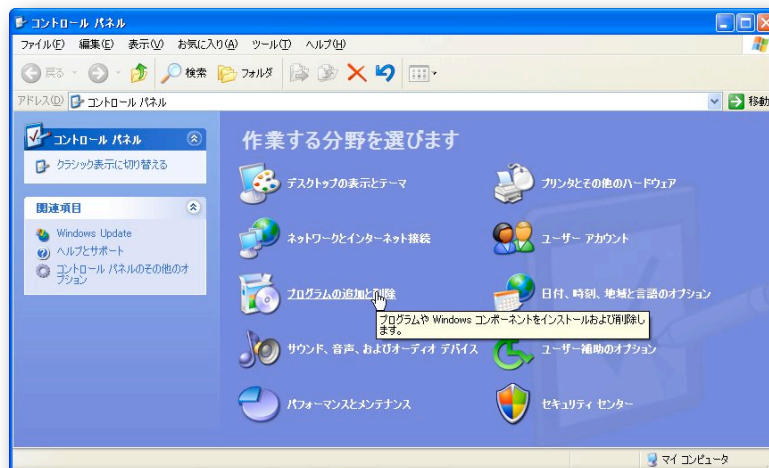
[完了] ボタンをクリックしてアプリケーションサーバーのインストールを完了してください。

2.1.2 XP Professional のIISのセットアップ

[スタートメニュー] からコントロールパネルを起動します。



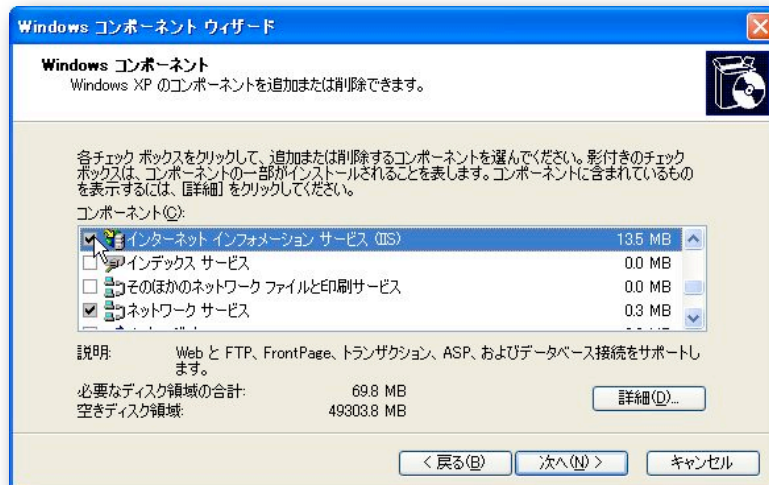
コントロールパネルのウィンドウが開いたら、[プログラムの追加と削除] を押下します。



「プログラムの追加と削除」ウィンドウが開くので、[Windowsコンポーネントの追加と削除(A)] をクリックします。



「Windows コンポーネントウィザード」ウィンドウが開くので、[インターネット インフォメーション サービス(IIS)] にチェックを入れてから、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。

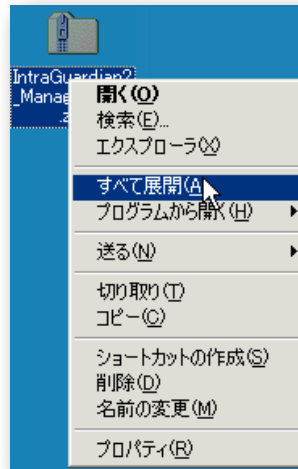


以下の完了ウィンドウが表示されたら、[完了] ボタンをクリックして、ウィザードを終了させてください。



2.2 ファイルの展開

製品サポートサイトよりダウンロードしたファイルを右クリックし、表示されたメニューから [すべて展開(A)] をクリックします。



展開ウィザード が開始するので、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。





ファイルの展開先を選択する画面が表示されますが、特に変更する必要はありません。そのまま [次へ(N)>] ボタンをクリックします。



[完了] ボタンをクリックすると、新しいウィンドウにファイル一式が表示され、展開作業は完了となります。



2.3 本ソフトウェアのセットアップ

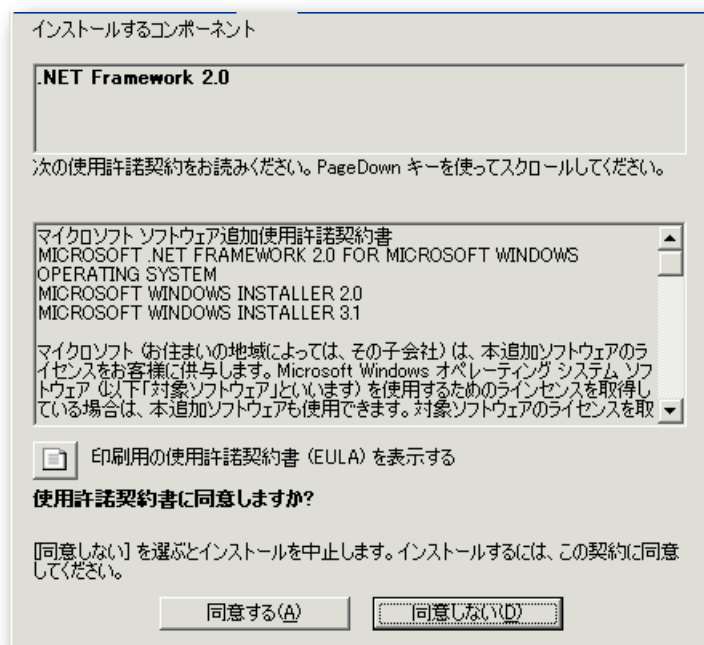
【2.2 ファイルの展開】により得られた本ソフトウェアのインストーラを使ってセットアップを行ないます。



上記の図中のフォルダ内の setup という名前のアイコンをダブルクリックします。

2.3.1 Microsoft .NET Framework 2.0 のセットアップ

Microsoft .NET Framework 2.0 がコンピュータにインストールされていない場合は、Microsoft .NET Framework 2.0 のセットアップ画面が表示されます。以下の手順に従ってセットアップを行なってください。



使用許諾契約書を読み [同意する(A)] をクリックします。

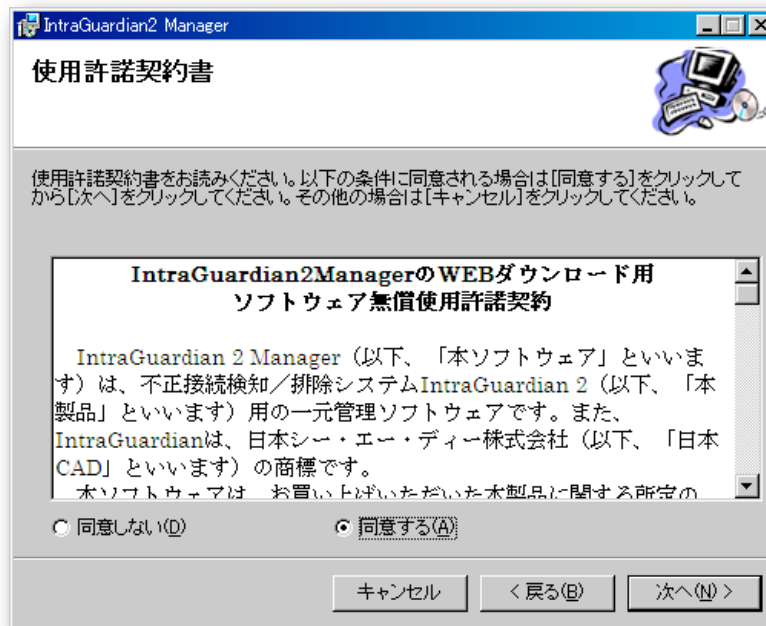
しばらくすると、本ソフトウェアのセットアップウィザードが表示されます。

2.3.2 本ソフトウェアセットアップウィザード

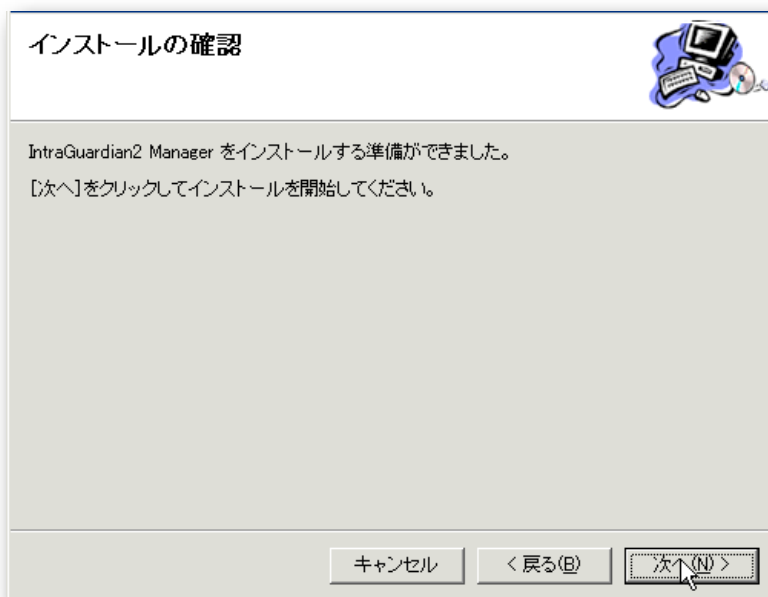
本ソフトウェアのセットアップウィザードが表示されたら、以下の手順でセットアップを完了させます。



[次へ(N)>] ボタンをクリックします。



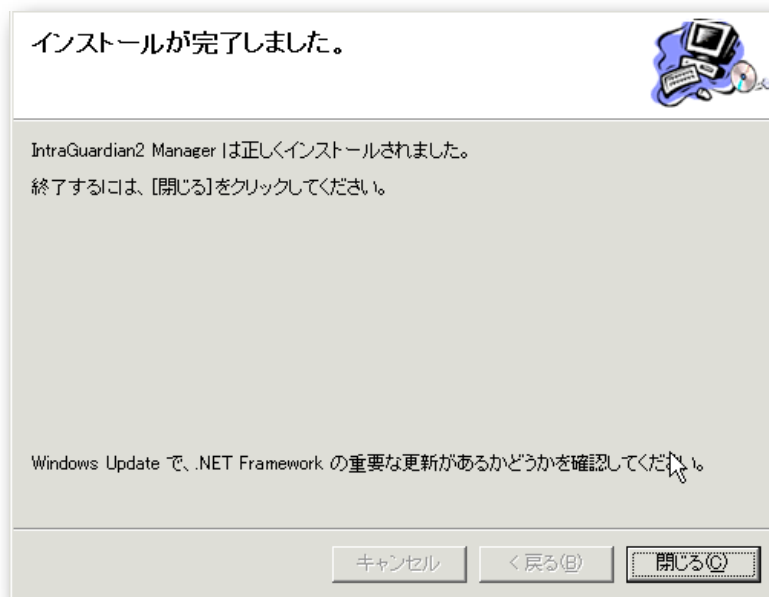
使用許諾書を読み、[同意する(A)] をクリックし、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。



[次へ(N)>] ボタンをクリックします。



インストールの途中にコマンドプロンプトが 2回表示されますが、そのままお待ちください。



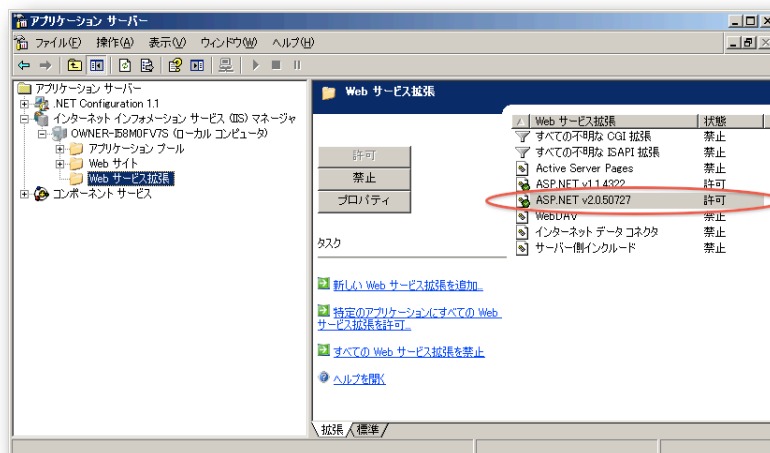
インストール完了のウィンドウが表示されたら、[閉じる(C)]ボタンをクリックし、セットアップウィザードを完了させてください。

IntraGuardian2 Managerのインストールが完了した後、一度 Windows Update (Microsoft Update)を用いて、.NET Framework が最新の状態になっていることを確認してください。

- * 「.NET Version 2.0 ~ 3.5 用 Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 および .NET Framework 3.5 ファミリ更新プログラム」が適用されていないと、IntraGuardian2 Managerは正しく動作しません。Windows Updateは、.NET アプリケーションが一つも入っていない場合、このサービスパックを自動的に適用しないことがあります。このため、IntraGuardian2 Manager のインストールが終わった後に Windows Update で確認する必要があります。

その後、一度Windowsを再起動してください。

- * IISのインストールの手順によっては、ASP.Net v2.0の使用が自動で許可にならないことがあります。この場合、アプリケーションサーバーの管理画面を使って、許可状態にしてください。



3 管理画面へログイン

3.1 Webブラウザの起動

管理画面にアクセスするためにWebブラウザ(以下、ブラウザ)を起動します。本ソフトウェアをインストールしたPCのブラウザでも、本ソフトウェアとLANで繋がっている他のPCのブラウザでも構いません。

ここでは、Microsoft Internet Explorer(以下、IE)を例に解説します。まず、デスクトップに表示されているIEのアイコンをダブルクリックして、起動します。



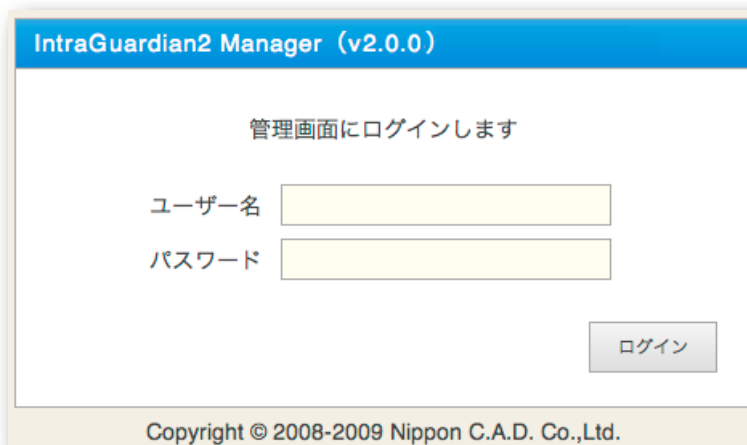
3.2 Manager PCのIPアドレスを入力

ブラウザのアドレス欄に以下のアドレスを入力して、本ソフトウェアにアクセスします。

* nnn.nnn.nnn.nnn は、本ソフトウェアをインストールしたPCの IPアドレスと読み替えてください。

アドレス	http://nnn.nnn.nnn.nnn/igm/
------	-----------------------------

「ユーザー名」と「パスワード」を入力して、[ログイン] ボタンをクリックし管理画面にログインします。



ユーザー名とパスワードは、初期状態では以下の通りに設定されています。

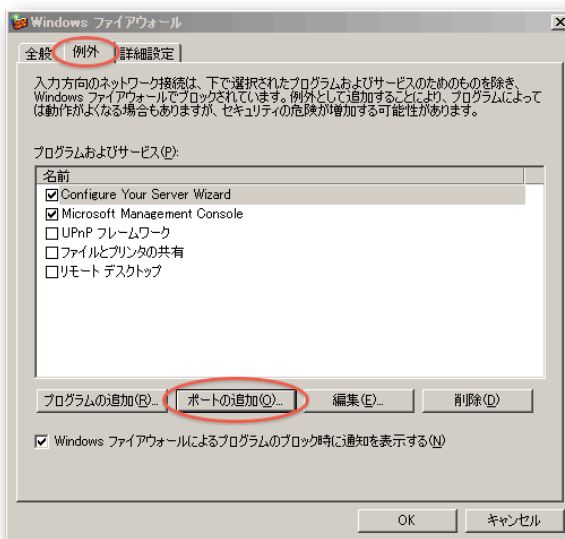
ユーザー名	admin
パスワード	admin

なお、以下のユーザー名とパスワードでログインすると、設定などの変更が一切できない、閲覧のみの状態の画面になります。

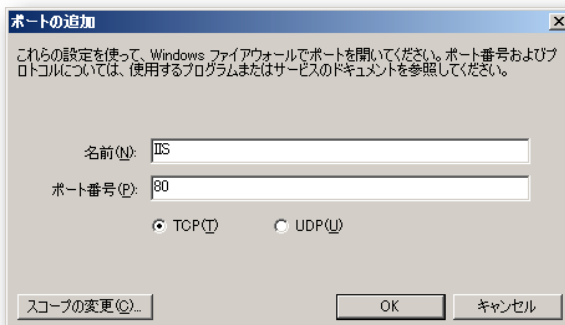
ユーザー名	user
パスワード	user

- * 他のPCから上記URLで Manager 管理画面にアクセスしたときに「このページは表示できません」のようなメッセージが出る場合には、Manager をインストールしたPCのファイアウォールの設定を確認し、80番ポートが受信許可されている事を確認してください。

Windows Server 2003 で、80番ポートの受信を許可する設定の仕方:



コントロールパネルの「Windows ファイアウォール」を開き、「例外」の [ポートの追加] ボタンをクリックします。



左図のように記入し、[OK] ボタンをクリックします。

4 メニュー項目

管理画面の左側には常にメニューが表示されます。



他の画面に切り替えたい場合には、このメニュー上の文字をクリックしてください。

5 IntraGuardian2 の登録

管理する IntraGuardian2 を登録します。

メニューから[IntraGuardian2一覧] をクリックすると、「IntraGuardian2一覧」の画面が表示されます。これから管理する IntraGuardian2 を登録するために、[新規登録] ボタンをクリックしてください。



ボタンクリック後「IntraGuardian2登録」画面が表示されます。必要項目を入力し、[確定] ボタンをクリックしてください。

名称	各 IntraGuardian2 を識別するための名前 '(シングルクォート)と,(カンマ)以外の任意の文字を使用できません。
IPアドレス	対象 IntraGuardian2 の IPアドレス

6 IntraGuardian2一覽

IntraGuardian2 が登録されると、「IntraGuardian2一覽」画面に「名称」及び「IPアドレス」が赤文字で表示されます。

選択	名称	IPアドレス	状態	動作モード	DB保存場所	操作
<input type="checkbox"/>	IT事業部	192.168.0.1				設定 編集

しばらく時間をおいてから再度「IntraGuardian2一覽」画面を開くか、何らかの設定を行なうと、IntraGuardian2 との通信が成功し、赤文字から緑文字に変化します。

選択	名称	IPアドレス	状態	動作モード	DB保存場所	操作
<input type="checkbox"/>	IT事業部	192.168.0.1	Running	保留+排除	IG2 本体	設定 編集

6.1 IntraGuardian2一覽の文字色

赤文字	IntraGuardian2 を登録したばかりで一度も通信を行っていない状態。または、IntraGuardian2 の生存確認に失敗した状態。
緑文字	IntraGuardian2 が正常に動作している状態。
桃色文字	IntraGuardian2 がファームウェアアップデートを行なっている状態。

- * 登録した IntraGuardian2 が「IntraGuardian2 Managerを使用する」設定になっていない場合、通信ができないため、いつまでも赤文字のままになります。「IntraGuardian2 Managerを使用する」設定の変更は、IntraGuardian2 本体のユーザーインタフェース画面で変更します。詳しくは IntraGuardian2 のスタートアップガイドをご覧ください。

6.2 各欄の説明

名称	各 IntraGuardian2 を識別するための名前
IPアドレス	対象 IntraGuardian2 の IPアドレス
状態	IntraGuardian2 の状態 NG : 異常動作、もしくは通信不可能 Running : 正常動作 Updating: ファームウェアアップデート中

動作モード	IntraGuardian2 の動作モード 検知 / 排除 / 保留+排除 (IntraGuardian2 本体のユーザーインターフェースで「保留」と記述されているモードは、Manager画面では「保留+排除」と表記されています。)
DB保存場所	登録済みPC情報の保存場所 IntraGuardian2 本体 / IntraGuardian2 Manager
操作	[設定] ボタン : 個別の IntraGuardian2 の設定を変更する画面に移ります。 [編集] ボタン : IntraGuardian2 の名称や IPアドレスを変更する画面に移ります。

7 全登録済みPC一覧

メニューから [全登録済みPC一覧] をクリックすると、全ての IntraGuardian2 に登録されているPCの一覧を参照することができます。また、登録済みPCの編集や削除もできます。

IG2	MACアドレス ベンダー	名称	IPアドレス (登録アドレス)	コンピュータ名 ワークグループ	確認日時▲ (登録日時)	操作
全て	00:11:0C:00:00:00 <Atmark Techno>	業務サーバー	192.168.0.50 (192.168.0.50)	DB-SERVER WORKGROUP	12/08 11:27:00 (2009/11/18 17:01:20)	編集 削除
全て	00:A0:DE:00:00:00 <YAMAHA>	IT事業部ルーター	192.168.0.2 (192.168.0.2)		12/08 11:26:39 (2009/11/18 18:21:55)	編集 削除
全て	00:0B:97:00:00:00 <Matsushita Electric>	山田花子モバイル	192.168.0.10 (---)	TYAMADA_MOBILE WORKGROUP	12/08 11:26:29 (2009/11/18 18:21:02)	編集 削除
全て	00:14:5E:00:00:00 <IBM>	山田太郎デスクトップ	192.168.0.100 (---)	TYAMADA_DESKTOP WORKGROUP	12/08 11:25:48 (2009/11/18 18:14:11)	編集 削除

原則として、PCの登録は IntraGuardian2 毎に行なわれているという点に注意してください。同じPCが2台の IntraGuardian2 に登録されている場合、登録件数は2件としてカウントされます。

初期状態では複数の IntraGuardian2 に登録されているPCは1行にまとめて表示され、「IG2」という欄には、当該PCが登録されている IntraGuardian2 の名前が表示されます。当該PCが全ての IntraGuardian2 に登録されている場合には、「全て」と表示されます。

「MACアドレスが同じ登録をまとめて表示する」のチェックボックスを外すと、複数の IntraGuardian2 に登録されているPCを1行にまとめて表示するのをやめ、それぞれ別の行として表示するようになります。

「IntraGuardian2 名称が」などの検索条件を選択・入力して「検索」ボタンをクリックすると、その条件に合致した登録PCだけが表示されます。

表のタイトル欄の「IG2」「MACアドレス」「名称」「IPアドレス」「コンピュータ名」「ワークグループ」「確認日時」の各文字をクリックすると、その項目でソートして表示をします。現在ソート対象となっている項目名には「▲」（降順）「▼」（昇順）の記号が付きます。既にソート対象となっている項目名をクリックすると、昇順と降順を切り替えます。

なお、表示行数が1000行を越える場合には、1000行以上は表示されません。この表示制限行数は、後述するManager設定画面で変更することができます。

- * 「IPアドレス」「コンピュータ名」「ワークグループ」の各欄は、IntraGuardian2 が検知した最新の情報を表示します。このため、当該PCが登録後に IntraGuardian2 で監視しているネットワーク内で一度も使われていない場合や、過去90日以上使われていない場合、または使われたとしても情報を取得することができない場合には、これらの欄は空欄（または「----」）になります。

- * 後述する Manager設定において、端末登録モードを「一括登録」にした際には、PCの登録情報は全ての IntraGuardian2 で同一となり、登録件数も1件としてカウントされます。このため、「MACアドレスが同じ登録をまとめて表示する」のチェックボックスは表示されません。
- * また、上記画面の「IG2」の欄は、PC登録時にそのPCを検知していた IntraGuardian2 の名称を表示します。すなわち、登録後にPCを別の場所に移動して使っている場合には、IG2欄に表示されるのは「現在そのPCを検知しているIntraGuardian2 名」ではないということに注意してください。
- * 端末登録モードについては、【14.3 Manager設定 その他の設定】をご覧ください。

[CSV出力] ボタンをクリックすると、表示中の情報をCSV形式のファイルとしてブラウザにダウンロードすることができます。この際、「MACアドレスが同じ情報をまとめて表示する」と、表示行数制限は無視されます。

7.1 PCの新規登録

全登録済みPC一覧画面で [新規登録] ボタンをクリックすると、PC登録画面が表示されます。各項目に入力して [確定] ボタンをクリックすることでPCを新規登録することができます。

名称	各 PC を識別するための名前 ,(カンマ)以外の任意の文字で、32バイト以内
MACアドレス	対象とする PC のMACアドレス
IPアドレス	対象とする PC のIPアドレス
PC移動監視の対象としない	登録PCが別の場所で使われた場合にメール通知する機能を用いる場合、このPCをその例外とすることを指示します。 * 詳しくは【10 PC移動履歴】をご覧ください。
対象IntraGuardian2	登録先の IntraGuardian2 IntraGuardian2 の名称がリストアップされるので、左側のチェックボックスにチェックを入れて選択します

- * 名称は、内部ではUTF-8コードで管理されています。このため、英数字のみを用いるとおおむね32文字まで、日本語のみを用いるとおおむね10文字まで登録できます。
- * IPアドレス欄は、登録時と異なるIPアドレスのPCを検出する機能を用いるときに参照されます。この機能を用いない場合（初期状態）は、IPアドレス欄は入力しても空欄でも構いません。
- * 後述する Manager設定において、端末登録モードを「一括登録」にした際には、PCの登録情報は全ての IntraGuardian2 で同一となるため、「対象IntraGuardian2」の欄は表示されません。

なお、PCの登録は、後述する全不正PC一覧画面からこの画面を呼び出して行なうこともできます。全不正PC一覧画面からPC登録画面を呼び出すと、MACアドレスやIPアドレス欄などがはじめから入力された状態になっていますので、登録が簡単です。

7.2 登録済みPCの編集

全登録済みPC一覧画面で、登録されている PC の操作欄にある [編集] ボタンをクリックすると、登録情報の編集を行なうことができます。その際、既にチェックが入っている「対象IntraGuardian2」からチェックを外した場合は、その IntraGuardian2 からは削除されます。また、チェックが入っていない「対象IntraGuardian2」にチェックを入れた場合は、その IntraGuardian2 に新たな PC として、新規登録されます。

IT事業部	00:11:0C:00:00:00 <Atmark Techno>	業務サーバー	192.168.0.50 (192.168.0.50)	DB-SERVER WORKGROUP	12/08 11:27:00 (2009/11/18 17:01:20)	[編集] [削除]
-------	--------------------------------------	--------	--------------------------------	------------------------	---	-----------

PC情報編集

PC情報の編集を行ないます。
下の各項目に入力後、確定ボタンを押してください。

名称	業務サーバー
MACアドレス	00:11:0C:00:00:00
IPアドレス	192.168.0.50

PC移動監視の対象としない

対象 IntraGuardian2 全選択 選択解除

総務 技術1課 技術2課 営業1課 IT事業部

[確定] [戻る]

この編集ボタンから呼び出される画面はあらかじめ「名称」「MACアドレス」「IPアドレス」「対象 IntraGuardian2」の情報が入っています。（登録時にIPアドレスを指定しなかった場合はIPアドレス欄は空欄になります。）

変更する必要がある場合には、書き変えてください。

PC情報編集

PC情報の編集を行ないます。
下の各項目に入力後、確定ボタンを押してください。

名称	業務サーバー
MACアドレス	00:11:0C:00:00:00
IPアドレス	192.168.0.50

PC移動監視の対象としない

対象 IntraGuardian2 全選択 選択解除

総務 技術1課 技術2課 営業1課 IT事業部

[確定] [戻る]

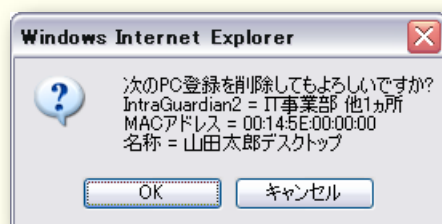
「IT事業部」からチェックを外して、「総務」にチェックを入れてから [確定] ボタンを押すと、IT事業部の IntraGuardian2 からは MACアドレスが 00:11:0C:00:00:00 の PC は削除され、総務の IntraGuardian2 には新たに同 MACアドレスの PC が登録されます。

7.3 登録済みPCの削除

全登録済みPC一覧画面で、登録されている PC の操作欄にある [削除] ボタンをクリックすると、登録情報の削除ができます。

全て	00:14:5E:00:00:00 <IBM>	山田太郎デスクトップ	192.168.0.100 (-----)	TYAMADA_DESKTOP WORKGROUP	12/08 11:25:48 (2009/11/18 18:14:11)	編集	削除
----	----------------------------	------------	--------------------------	------------------------------	---	----	----

下記のダイアログボックスが表示されますので、本当に削除する場合は [OK] ボタンを、取り消す場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。



8 全不正接続PC一覧

メニューから [全不正接続PC一覧] をクリックすると、全ての IntraGuardian2 が検知/排除中の不正接続PCの一覧が表示されます。また、この画面からも PC の登録や一括登録ができます。

保留中になっているPCについては、状態欄に残りの保留時間が表示されますが、この時間は本画面を再表示するまで更新されません。

IG2	MACアドレス ベンダー	IPアドレス	コンピュータ名 ワークグループ	検知日時	確認日時▲	状態	操作
IT事業部	AA:BB:CC:DD:EE:FF <UNKNOWN>	192.168.192.168	DUMMY PC#1	10/26 01:00:00	10/26 02:30:00	排除中	登録

「IntraGuardian2 名称が」などの検索条件を選択・入力して「検索」ボタンをクリックすると、その条件に合致したPCだけが表示されます。

表のタイトル欄の「IG2」「MACアドレス」「IPアドレス」「コンピュータ名」「ワークグループ」「検知日時」「確認日時」「状態」の各文字をクリックすると、その項目でソートして表示をします。現在ソート対象となっている項目名には「▲」（降順）「▼」（昇順）の記号が付きます。既にソート対象となっている項目名をクリックすると、昇順と降順を切り替えます。

なお、表示行数が1000行を越える場合には、1000行以上は表示されません。この表示制限行数は、後述するManager設定画面で変更することができます。

[CSV出力] ボタンをクリックすると、表示中の情報をCSV形式のファイルとしてブラウザにダウンロードすることができます。この際、表示行数制限は無視されます。

8.1 PCの登録

登録したい PC の右側に表示されている [登録] ボタンをクリックすると「全登録済みPC一覧」の登録画面と同じ画面が表示されます。コンピュータ名を取得できた場合は、あらかじめ名称として自動的に入力済みの状態となります。

8.2 保留時間設定

「保留+排除」モードで運用している IntraGuardian2 が検知した PC の場合、[保留] ボタンが表示されます。このボタンをクリックすると、保留中のPCの場合には残り保留時間の変更が、排除中のPCの場合には排除を停止して一定時間保留状態にすることができます。

8.3 PCの一括登録

画面に表示されている PC を一括して登録したい場合は [一括登録] ボタンをクリックしてください。コンピュータ名を取得出来た場合は、そのコンピュータ名が名称として自動的に入力されます。

- * 非常に多数のPCを一括登録しようとする、うまく登録できない場合があります。通信設備の状態などにより大きく変わりますが、1000台を越えるような一括登録はあまりお勧めできません。

9 全検知履歴

メニューから [全検知履歴] をクリックすると、全ての IntraGuardian2 が検知した不正接続検知の履歴を参照することができます。また、この画面からも PC の登録や一括登録ができます。

検知履歴は定期的に IntraGuardian2 からManagerのハードディスクにコピーされ、保存されます。過去の大量の検知履歴によって表示などの操作が遅くなることを避けるため、本画面で表示対象とする履歴の期間を1日～365日の中から選択できるようになっています。

また、同じPCが何度も検知された場合には、検知日時や確認日時だけが複数行になって表示されます。（「MACアドレスが同じ記録をまとめて表示する」のチェックボックスをはずすと、検知毎に別の行として表示させる事ができます。）

IG2	MACアドレス ベンダー	IPアドレス	コンピュータ名 ワークグループ	検知日時	確認日時▲	操作
IT事業部	00:02:C7:00:00:00 <ALPS ELECTRIC>	192.168.0.70	PC03XV001 WORKGROUP	07/29 18:32:53	07/29 19:55:52	登録
IT事業部	00:0E:35:00:00:00 <Intel>	192.168.0.71	PC03XV002 WORKGROUP	07/29 14:02:20	07/29 19:54:09	登録
IT事業部	00:25:00:00:00:00 <Apple>	192.168.0.72		07/29 14:02:18 07/29 13:44:36	07/29 19:41:31 07/29 14:01:02	登録

「IntraGuardian2 名称が」などの検索条件を選択・入力して「検索」ボタンをクリックすると、その条件に合致した履歴だけが表示されます。

表のタイトル欄の「IG2」「MACアドレス」「IPアドレス」「コンピュータ名」「ワークグループ」「検知日時」「確認日時」の各文字をクリックすると、その項目でソートして表示をします。現在ソート対象となっている項目名には「▲」（降順）「▼」（昇順）の記号が付きます。既にソート対象となっている項目名をクリックすると、昇順と降順を切り替えます。

なお、表示行数が1000行を越える場合には、1000行以上は表示されません。この表示制限行数は、後述するManager設定画面で変更することができます。

[CSV出力] ボタンをクリックすると、表示中の情報をCSV形式のファイルとしてブラウザにダウンロードすることができます。この際、表示行数制限は無視されます。

9.1 PCの登録

登録したいPCの右側に表示されている [登録] ボタンをクリックすると「全登録済みPC一覧」の登録画面と同じ画面が表示されます。コンピュータ名を取得できた場合は、あらかじめ名称として自動的に入力済みの状態となります。

9.2 PCの一括登録

画面に表示されている PC を一括して登録したい場合は [一括登録] ボタンをクリックしてください。コンピュータ名を取得出来た場合は、そのコンピュータ名が名称として自動的に入力されます。

- * 非常に多数のPCを一括登録しようとする、うまく登録できない場合があります。通信設備の状態などにより大きく変わりますが、1000台を越えるような一括登録はあまりお勧めできません。

10 PC移動履歴

メニューから [PC移動履歴] をクリックすると、セグメント間で持ち運ばれたPCがわかります。

登録済みのPCのMACアドレスが、ある IntraGuardian2 が監視しているセグメント内で見つかった後に、他の IntraGuardian2 が管理しているセグメント内で見つかった場合に、そのPCが移動したと認識されます。（そのため、本機能は IntraGuardian2 本体の機能ではなく、IntraGuardian2 Manager 固有の機能となっています。）

- * この機能は、Manager設定の「PC移動確認間隔」を 0 以外にしたときのみ有効です。インストール直後の状態では、この設定は 0 で、無効になっています。

移動元	移動先	MACアドレス ベンダー	名称	IPアドレス	コンピュータ名 ワークグループ	確認日時▲
総務	技術1課	00:1B:63:00:00:00 <Apple Computer>	営業次郎ノート	192.168.10.131	JIRO_NOTE WORKGROUP	10/19 14:10:01
技術3課_他	技術1課	00:30:13:00:00:00 <NEC>	山田太郎作業用	192.168.10.220	YAMADA-01 WORKGROUP	10/19 11:05:35 10/18 08:12:11
技術3課	営業1課	00:17:F2:00:00:00 <Apple Computer>	田中一郎	192.168.13.4	RTANAKA KOUGA	10/18 17:04:54

移動履歴は Manager 内のハードディスクに永続的に保存されます。過去の大量の移動履歴によって表示などの操作が遅くなることを避けるため、本画面で表示対象とする履歴の期間を1日～365日の中から選択できるようになっています。

同じPCが何度も移動検知された場合には、確認日時だけが複数行になって表示されます。（「MACアドレスが同じ記録をまとめて表示する」のチェックボックスをはずすと、検知毎に別の行として表示させる事ができます。）

「IntraGuardian2 名称が」などの検索条件を選択・入力して「検索」ボタンをクリックすると、その条件に合致した履歴だけが表示されます。

表のタイトル欄の「移動元」「移動先」「MACアドレス」「名称」「IPアドレス」「コンピュータ名」「ワークグループ」「確認日時」の各文字をクリックすると、その項目でソートして表示をします。現在ソート対象となっている項目名には「▲」（降順）「▼」（昇順）の記号が付きます。既にソート対象となっている項目名をクリックすると、昇順と降順を切り替えます。

なお、表示行数が1000行を越える場合には、1000行以上は表示されません。この表示制限行数は、後述するManager設定画面で変更することができます。

[CSV出力] ボタンをクリックすると、表示中の情報をCSV形式のファイルとしてブラウザにダウンロードすることができます。この際、「MACアドレスが同じ記録をまとめて表示する」と表示行数制限は無視されます。

ネットワーク構成の都合などにより、特定のPCが複数の IntraGuardian2 に検知されるということがあります。（VLANを用いた環境などで発生する事があります。）この場合、その特定PCだけをPC移動検知の対象から外す事により、不用なメール通知を無くすることができます。

特定PCをPC移動検知対象から外すには、「全登録済みPC一覧」画面から当該PCの [編集] ボタンをクリックします。すると、PC情報編集画面が表示されますので、その中の [PC移動監視の対象としない] にチェックマークをつけて、[確定] ボタンを押してください。

PC情報編集

PC情報の編集を行いません。
下の各項目に入力後、確定ボタンを押してください。

名称	業務サーバー
MACアドレス	00:11:0C:00:00:00
IPアドレス	192.168.0.50

PC移動監視の対象としない

対象 IntraGuardian2

総務 技術1課 技術2課 営業1課 IT事業部

11 IntraGuardian2 の設定

本ソフトウェアからは、IntraGuardian2 の設定を参照/変更 することもできます。メニューから [IntraGuardian2一覧] をクリックして表示される、IntraGuardian2一覧画面で、設定したい IntraGuardian2 の操作欄に表示されている [設定] ボタンをクリックします。[設定] ボタンをクリックすると IntraGuardian2 の設定画面が表示されます。

選択	名称	IPアドレス	状態	動作モード	DB保存場所	操作
<input type="checkbox"/>	IT事業部	192.168.0.1	Running	保留+排除	IG2 本体	<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="編集"/>

この画面では、上部に IntraGuardian2 の設定メニューが常時表示されます。



設定の内容に関しては、IntraGuardian2 のスタートアップガイドをご参照ください。

11.1 一括設定

「動作設定」及び「通知設定」の画面には、[全IntraGuardian2を設定] ボタンがあります。現在の設定を他の全ての IntraGuardian2 にも適用する場合にクリックしてください。

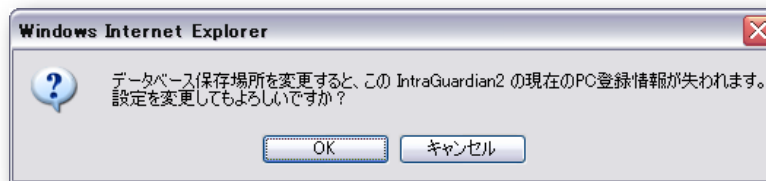
巡回実行間隔(秒) 15

11.2 特殊な設定

1ブロードキャストセグメントで 1024台以上の登録済みPC を管理する場合は、IntraGuardian2 のデータベース保存場所を「IG2 Manager」に変更する必要があります。データベース保存場所は、IntraGuardian2 の設定メニューの「設置設定」内にあります。



設定を変更する際、以下の確認ダイアログボックスが表示されます。本当に変更する場合は [OK] ボタンを、操作を取りやめる場合は [キャンセル] ボタンをクリックします。



IntraGuardian2 本体	登録済みPCの情報は、IntraGuardian2 本体に保存されます。登録できる PC の数は 1024 が上限となります。
IG2 Manager	IntraGuardian2 が起動するときに、登録済みPC の情報を本ソフトウェアから取得するようになります。登録できる PC の数は 10000 と、大幅に増えますが、起動時に本ソフトウェアと通信できなかった場合、登録済みPCの情報を得ることができなくなります。

- * データベース保存場所を「IG2 Manager」にした場合、IntraGuardian2 の起動時に何らかの理由で本ソフトウェアと通信ができないと、IntraGuardian2 は不正PCの検知作業を一時的に停止します。この際、IntraGuardian2 は数秒毎に本ソフトウェアとの通信を再試行しますが、数回に渡って通信失敗が続くと、通信再試行の間隔は数分に延びます。通信に成功して登録済みPC一覧を獲得すると、IntraGuardian2 は通常の動作に戻ります。

12 ファームウェア更新

本ソフトウェアからは、複数の IntraGuardian2 ファームウェアを一括して更新することが可能です。一括更新を行なう場合は、メニューから「ファームウェア更新」をクリックし、ファームウェア更新画面を表示させます。

ファームウェア更新

複数の IntraGuardian2 のファームウェアを一斉更新します

現在選択中のファームウェアファイル None (Version UNKNOWN)

ファームウェアファイル選択変更 ファイルが選択されていません

更新対象	名称	IPアドレス	バージョン	状態
<input type="checkbox"/>	総務	172.16.1.1	2.0.14	Running
<input type="checkbox"/>	技術1課	172.16.2.1	2.0.14	Running
<input type="checkbox"/>	技術2課	1.168.0.60	2.0.14	Running
<input type="checkbox"/>	営業1課	172.16.22.57	2.0.14	Running
<input type="checkbox"/>	IT事業部	192.168.0.90	2.0.14	Running

* 「更新予約」をクリックすると、チェックマークが付いている IntraGuardian2 に対して、後ほど通信が可能なときに自動的にファームウェアアップデートが行なわれます。

(1) [ファイルを選択 (※)] ボタンをクリックし、あらかじめ製品サポートサイトからダウンロードしておいた、IntraGuardian2 の更新ファームウェアを選択します。

* Internet Explorer の場合には [参照]、Firefox の場合には [選択] となります。

(2) 更新対象の IntraGuardian2 のチェックボックスにチェックを入れます。

(3) 今すぐ更新する場合は、[今すぐ更新] ボタンを、更新を予約する場合は、[更新予約] ボタンをクリックします。

* 更新予約をした場合、バックグラウンドで定期的に IntraGuardian2 のバージョンが確認され、選択されたファームウェアファイルと異なる場合にはリモートバージョンアップを実行します。本画面を開きっぱなしにしておく必要はありません。

IntraGuardian2 のカーネル(OS)のバージョンアップを行なう場合には、ファームウェアファイルとしてカーネル用のファイルを選択してください。

* カーネルのバージョンアップは更新予約をする事ができません。「今すぐ更新」で更新してください。

13 バックアップ／復元

複数の IntraGuardian2 の基本設定や登録済みPC一覧を一斉にバックアップ / 復元する場合や、本ソフトウェアの設定をバックアップ / 復元する場合には、メニューから [バックアップ/復元] をクリックし、バックアップ/復元 画面を表示させます。

* 個別の IntraGuardian2 のバックアップ作業を行なう画面は、「11 IntraGuardian2 の設定」で説明した画面内にあります。



(1) 操作の対象 ([基本設定] / [登録済みPC一覧] / [Manager設定]) をリストから選択します。

(2) 実行したい内容にあわせて操作 ([バックアップ] / [復元] / [復元ファイルチェック]) を選択します。

(3) 復元を実行する場合には [ファイルを選択 (※)] ボタンをクリックし、あらかじめバックアップしておいたファイルを選択します。

* Internet Explorer の場合には [参照]、Firefox の場合には [選択] となります。

(4) 操作の対象にて [基本設定] / [登録済みPC一覧] を選択した場合は、対象とする IntraGuardian2 にチェックを入れます。

(5) [実行] ボタンをクリックすると、バックアップ / 復元 を実行します。操作にて [バックアップ] を選択した場合、バックアップファイルのダウンロードが開始され、[復元] を選択した場合は、バックアップファイルからの復元が開始されます。

* IntraGuardian2 の基本設定と登録済みPC一覧のバックアップでダウンロードされるファイルは、IntraGuardian2 単体のバックアップ操作でダウンロードされるファイルをZIPフォーマットで結合・圧縮したものです。

- * “.zip”拡張子のファイルを自動的に展開する機能を持つブラウザをお使いの場合、自動展開機能をオフにしてください。
- * 工場出荷状態の IntraGuardian2 は、IPアドレスが初期状態の”192.168.100.1”で、「IG2 Manager を使用しない」という設定になっているため、基本設定の復元を含め、Managerとの通信は一切できないようになっています。IntraGuardian2を交換する際には、IntraGuardian2 スタートアップガイドの記述に従って、IntraGuardian2 本体のWeb管理画面を使って基本設定を行なってください。

14 Manager設定

IntraGuardian2 が正常に動作しているかの確認(生存確認)の設定や、PC を登録する際の動作を変更することができます。

Manager 設定 を行なう場合は、メニューから [Manager設定] をクリックし、Manager 設定画面を表示します。

14.1 生存確認

IntraGuardian2 生存確認間隔(分)	IntraGuardian2 が正常に動作しているか確認する間隔を指定します。
PC移動確認間隔(分)	IntraGuardian2 管理セグメント間でPCの移動があったかどうかを確認する時間間隔です。 0を指定するとPC移動検知を行いません。

14.2 通知設定

IntraGuardian2 が正常に動作していなかった場合の通知メールの宛先などを指定します。

宛先	送信先のメールアドレスです。 ここを空欄にすると、本ソフトウェアからのメール通知は行ないません。
-----------	---

SMTPサーバ	メール送信サーバのホスト名またはIPアドレスです。
ポート番号	メール送信サーバ上の送信用ポート番号です。通常、25か587です。
送信元	通知メールの From: ヘッダになるメールアドレスです。
認証方式	メール送信サーバでの送信認証方式です。なし / POP before SMTP / SMTP-AUTH のいずれかを選んでください。POP before SMTP か SMTP-AUTHを選択した場合には、詳細情報も入力してください。
メールの件名 (IG死活監視用)	IntraGuardian2 と通信できなくなったときに送られる通知メールの Subject: ヘッダになる文字列です。日本語も使用できます。
メールの件名 (PC移動監視用)	異なる IntraGuardian2 管理セグメント間でPCが移動した事を検知したときに送られる通知メールの Subject: ヘッダになる文字列です。日本語も使用できます。

14.3 その他の設定

端末登録モード	<p>複数の IntraGuardian2 に同一の PC データを適用する場合は [一括登録]、個別のデータを用いる場合は [個別登録] を選択します。</p> <p>* 一括登録を選択した場合には、登録されている全ての IntraGuardian2 は自動的に「データベース保存場所 = IG2 Manager」に切り替わります。</p>
----------------	---

最大表示件数	全登録済みPC一覧/全不正接続PC一覧/全検知履歴で、一度に表示できる最大件数を設定します。 * 1行に複数件数の情報を表示する事ができる画面の場合、ここで指定した件数は行数の意味になります。
ログインセッションタイムアウト(分)	操作を行なわない状態が続いた場合にログアウトするまでの時間を設定します。 * 無操作状態がここで指定した時間続いた時点で画面が自動的に切り替わるわけではありません。次に操作しようとしたときにセッションがタイムアウトしたという表示が出て、ログインからやり直す事になります。

- * 端末登録モードを個別登録から一括登録に切り替える際に、IntraGuardian2 と通信ができない状態にある場合には、「データベース保存場所」が正しく切り替わりません。個別の IntraGuardian2 の設置設定画面を開き、設定保存をやり直してください。

15 パスワード設定

管理画面へログインする際に入力するパスワードを変更する事が可能です。

メニューから [パスワード設定] をクリックすると、パスワードを設定する画面が表示されます。「新しいパスワード」および「再入力」に新しいパスワードを入力後、[確定] ボタンをクリックすることで、パスワードが変更できます。

なお、ユーザー名”admin”でログインしているときには”admin”用のパスワードが、ユーザー名”user”でログインしているときには”user”用のパスワードが変更されます。

新しいパスワード	6文字以上12以内の半角英数記号を入力します
再入力	入力ミスを防止するために、上記の新しいパスワードを再度入力します

パスワード設定

パスワードの変更を行います。
新しいパスワードを入力後、確定ボタンをクリックして下さい。

新しいパスワード

再入力

設定

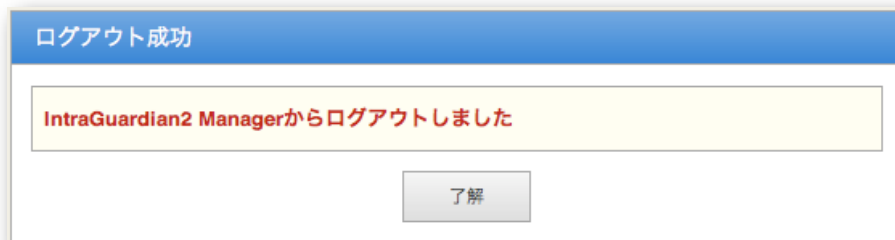
パスワードの変更に成功すると、以下のメッセージが表示されます。

パスワード設定

パスワードを変更しました

16 ログアウト

メニューから [ログアウト] をクリックすることで管理画面からログアウトできます。ログアウトに成功すると以下の画面が表示され、[了解] ボタンをクリックすることで、ログイン画面に戻ることができます。

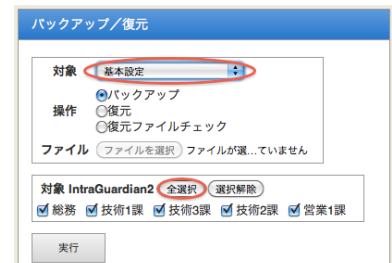
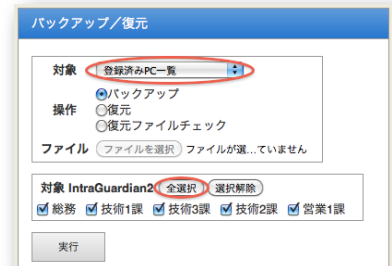
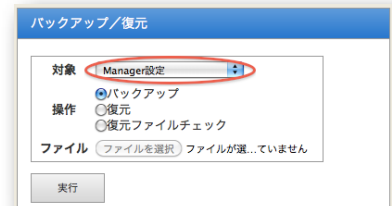


17 アップグレードとアンインストール

IntraGuardian2 Manager を以前のバージョンからアップグレードする場合には、まず旧バージョンの Manager をアンインストールしてから、新バージョンをインストールします。

17.1 旧 Managerのアンインストール

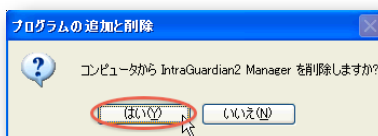
- (1) IntraGuardian2 Manager の管理画面にログインします。
- (2) メニューの [バックアップ/復元] をクリックし、「対象」は「Manager設定」を、「操作」は「バックアップ」を選択します。
- (3) [実行] ボタンをクリックすると、ブラウザに Manager設定ファイル (igmanager-xxxxxxx.zip) が送られるので、それを保存しておきます。
- (4) バックアップ対象を「基本設定」に変え、「対象 IntraGuardian2」の [全選択] ボタンをクリックします。
- (5) [実行] ボタンをクリックすると、ブラウザに IntraGuardian2 基本設定ファイル (iguardconf-xxxxxxx.zip) が送られるので、それを保存しておきます。
- (6) バックアップ対象を「登録済みPC一覧」に変え、「対象 IntraGuardian2」の [全選択] ボタンをクリックします。
- (7) [実行] ボタンをクリックすると、ブラウザに IntraGuardian2 登録済みPC一覧ファイル (hostdbcsv-xxxxxxx.zip) が送られるので、それを保存しておきます。



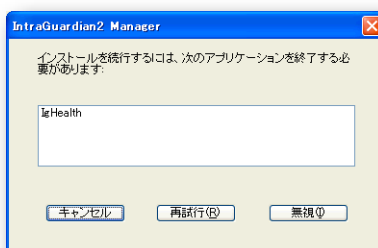
(8) コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」を起動し、「IntraGuardian2 Manager」の欄を選択してから [削除] ボタンをクリックします。



(9) 削除の確認ダイアログが現れますので、[はい] をクリックします。



(10) OSのバージョンなどによっては、次のウィンドウが表示される事があります。



IntraGuardian2 Manager 2.0.2以降をアンインストールする場合には、[無視] ボタンをクリックしてください。

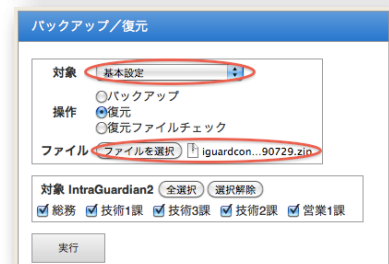
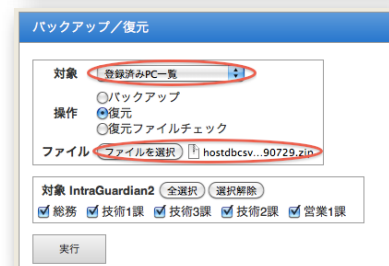
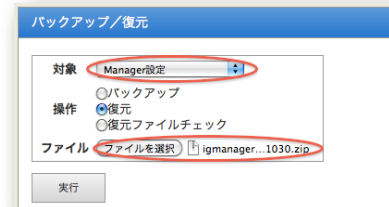
IntraGuardian2 Manager 2.0.1をアンインストールする場合には、このウィンドウはそのままにして、画面右下の「IG」アイコンを右ボタンクリックし、[終了] を選択します。



その後、先ほどのウィンドウの [再試行] ボタンをクリックしてください。

17.3 新 Manger のインストール

- (1) 【2.2 ファイルの展開】および【2.3 本ソフトウェアのインストール】の手順に従って、新 Manager をインストールします。
- (2) 新 IntraGuardian2 Managerの管理画面にログインします。
- (3) メニューの [バックアップ/復元] をクリックし、「対象」は「Manager設定」を、「操作」は「復元」を選択します。
- (4) 「ファイル」に旧 IntraGuardian2 Manager でバックアップした Manager設定ファイル (igmanager-xxxxxxx.zip) を指定し、[実行] ボタンをクリックします。
- (5) 復元対象を「登録済みPC一覧」に変え、「対象 IntraGuardian2」の [全選択] ボタンをクリックします。
- (6) 「ファイル」に旧 IntraGuardian2 Manager でバックアップした IntraGuardian2 登録済みPC一覧ファイル (hostdbcsv-xxxxxxx.zip) を指定し、[実行] ボタンをクリックします。
- (7) 復元対象を「基本設定」に変え、「対象 IntraGuardian2」の [全選択] ボタンをクリックします。
- (8) 「ファイル」に旧 IntraGuardian2 Manager でバックアップした IntraGuardian2 基本設定ファイル (iguardconf-xxxxxxx.zip) を指定し、[実行] ボタンをクリックします。



* 復元する対象の順番は重要です。必ず「Manager設定」「登録済みPC一覧」「基本設定」の順番に復元してください。

IntraGuardian2 Manager
スタートアップガイド
第5版
Version 2.0.6用
2010年3月10日

開発元 日本シー・イー・ディー株式会社
〒161-0033 東京都新宿区下落合2-14-1 CADビル
<http://www.ncad.co.jp>